

# 政府陳情報告書

令和3年2月12日

貝塚市議会議員 阪口 芳弘 殿

自由市民 簀内 留治  
田畑 庄司  
食野 雅由  
田中 学

## 【陳情項目及び、担当省庁】

### 第1日 令和3年2月8日（月）

- 11:00 片山さつき参議院議員表敬訪問  
(スーパーシティ講演会開催の打ち合わせ)
- 11:45 北村経夫参議院議員表敬訪問  
(引き続いての支援要請)
- 14:00 「公共施設等適正管理推進事業債の延長について」  
総務省自治財政局財務調査課 臼井智彦 課長補佐
- 15:30 「耐用年数を経過した水道管の更新整備に係る地方財政措置について」  
総務省自治財政局公営企業課公営企業経営室 小野裕一郎 課長補佐  
厚生労働省医薬・生活衛生局水道課 菊田高章 課長補佐  
厚生労働省医薬・生活衛生局水道課 西川嶺 水道係長

### 第2日 令和3年2月9日（火）

- 9:30 「公立病院への支援について」  
厚生労働省健康局結核感染症課 松村達司 課長補佐  
厚生労働省医政局医療経営支援課 大宮貴司 課長補佐  
厚生労働省医政局医事課 種子島七海 主査  
厚生労働省保険局医療課 川嶋康平 主査
- 11:00 「GIGAスクールの推進について」  
文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課情報教育振興室  
大塚和明 室長補佐

- 12 : 00 自見はなこ参議院議員表敬訪問  
(自治体のコロナ対策について)
- 14 : 00 「ポストコロナにおける市民生活支援について」  
厚生労働省健康局健康課予防接種室 前田優佳 事務官
- 15 : 45 「特別交付税の配分について」  
谷川とむ総務大臣政務官

## 第1日 令和3年2月8日(月)

例年行っている政府陳情は、新政クラブの真利一朗議員と理事者側から小池吉裕都市政策部長と常國清孝政策推進課長が同行して行いました。空路東京に出向き参議院議員会館に午前11時前に到着、片山さつき参議院議員を訪問、2月13日にコスモスシアターにおいて貝塚市が主催し貝塚商工会議所が協力して開催する「スーパーシティ講演会」の打ち合わせを行いました。その席には、当日事例紹介を担当されるS B G (Super Boys Guild) 代表の柴田明恭氏も同席されていて、開催の手順や方法などについて協議しました、その中で講師の片山さつき議員はリモートで東京から講演され、事例紹介の柴田氏には成功事例を発表するメンバーを貝塚市にマッチした企業等を選定して頂くよう要請しました。

その後、北村経夫参議院議員を表敬訪問し継続して貝塚市の要望をして頂くようお願いしました。



片山さつき議員と打ち合わせ



衆議院第1会館B1会議室



陳情書を手渡す

その後、14時から地元選出の谷川とむ総務大臣政務官に依頼して今回も陳情のセッティングをしてもらい、会場である衆議院第1会館B1の第5会議室に移動し「公共施設等適正管理推進事業債の延長について」の陳情を総務省自治財政局財務調査課 臼井智彦 課長補佐に要望しました。貝塚市においては、岸和田市との間で計画している市営斎場の建設と、三館合同（ひとふれあいセンター・ハート交流館・やすらぎ老人福祉センター）の建設計画は、

国の補助である公共施設等適正管理推進事業債が終了すると聞いており、その延長をお願いしました。当然政府の官僚が答弁できないのは承知していますが基礎自治体としての意見を聞き置いてほしいとお願いをしました。

その後、15時30分から「耐用年数を経過した水道管の更新整備に係る地方財政措置について」の陳情を行いました。国から総務省自治財政局公営企業課公営企業経営室 小野裕一郎 課長補佐、厚生労働省医薬・生活衛生局水道課 菊田高章 課長補佐、厚生労働省医薬・生活衛生局水道課 西川嶺 水道係長が対応されました。貝塚市においての水道管は、その耐用年数を経過しており老朽管の更新を早期に実施しなければならない状況を説明しました。貝塚市の水道事業の健全経営は国の担当者も承知されていて現状では支援は厳しい旨の発言でありましたが、我々は健全経営の努力が報われるようにしてほしいと述べました。その上で何か良いメニューが無いか聞いたところ、総務省の災害対策における防水装置や自家発電装置における補助があると聞きましたが、現実には厳しいのかなと感じました。

## 第2日 令和3年2月9日（火）

第2日は、午前9時30分から衆議院第1会館B1の第5会議室において、「公立病院への支援について」の陳情を厚生労働省健康局結核感染症課 松村達司 課長補佐、厚生労働省医政局経営支援課 大宮貴司 課長補佐、厚生労働省医政局医事課 種子島七海 主査、厚生労働省保険局医療課 川嶋康平 主査に行いました。新型コロナウイルス感染症対応病床の空床補償と診療報酬の引き上げと医療スタッフの人件費等の財政支援。また、不足する麻酔科医や呼吸器専門医の派遣についての検討をお願いしました。

続いて、11時から「GIGAスクールの推進について」文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課情報教育振興室 大塚和明室長補佐にGIGAスクール構想の実現に向けて、より充実した授業を行うための教職員への研修の充実と、タブレットの更新などに対する財政支援をお願いしました。特に、今後の運用に掛かるランニングコストとタブレットの更新に対する財政支援をお願いしました。

その後、参議院会館会議室に移動し、自見はなこ参議院議員と新型コロナウイルスワクチン接種体制についての自治体説明会の要点をレクチャーしてもらいました。そして、令和2年度厚生労働省の第3次補正予算の概要と、令和3年度予算案についての説明を受けました。流石に、官僚の説明に無い令和3年度の予算概要にまで説明され、議員目線での話の違いを感じるものがありました。



自見はなこ議員との意見交換



陳情に対する説明の様子



谷川とむ政務官に陳情

その後、14時に衆議院第1会館に戻り「ポストコロナにおける市民生活支援について」の陳情を行いました。対応されたのは、内閣府地方創生推進室 波賀野純也氏と厚生労働省健康局健康課予防接種室 前田優佳氏で、我々は、ポストコロナにおいての市民生活が新しい生活様式を実践していく上で、必要な整備や支援を行う上での令和2年度の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金において認められている繰越明許をより効果的に運用できるように柔軟な対応をお願いしました。また、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種事業に対する補助金の使途を想定されていない事案が生じた場合も、円滑に事業を進められるように必要な支援をお願いしました。

その後、総務省に出向き、15時45分より谷川とむ総務大臣政務官を訪問し、今後の経済活動の停滞から税収の減収が予測される折、貝塚市においては、少子高齢化が進む中で、子育て支援や介護給付費等社会保障関係経費をはじめ、橋梁等の耐震化事業など防災・減災対策費の増加など行政需要が多くなっている状況であり、これらの財政需要の支援をお願いしました。その中で、特別交付税の格段の配慮を強く求めてまいりました。

以上、報告と致します。